

2025年 新年のごあいさつ



栃木県看護連盟会長
小倉佳子

栃木看護連盟会員の皆様、明けましておめでとうございます。日頃より看護連盟活動に、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年は第27回参議院選挙の年です。昨年の第2次石破内閣において、阿部俊子衆議院議員が文部科学大臣に、友納理緒参議院議員は内閣府大臣政務官に就任されるなど、看護界において明るい未来につながるのではないかと考えております。一方、高階恵美子候補は惜しくも当選に及びませんでした。

看護職国会議員の皆様には、看護職だからこそ働く環境について細部にわたって理解し、現場の声を届けてくださっております。国会で法律による盤石な体制を作るという成果につないでいただくことが重要ですので、議員が一人減ってしまったことは大きな痛手です。これからも、私たち看護職の、そして国民一人一人の健康を守るため、看護職国会議員を一人でも多く国政に送れるよう取り組んでまいります。

今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。「乙」は十干の2番目で、広がっていく美しい草花を表し「巳」は草木が極限まで成長した状態をあらわし、これからの成長をさらに安定したものへと育てていく年だそうです。看護界にとっても皆様にとっても巳（み）のりある一年になりますようご祈念申し上げます。



日本看護連盟会長
高原静子

明けましておめでとうございます。

皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明け早々の能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。そして、多くの困難に立ち向かいながらも、地域社会や医療チームの一員として力を尽くしてこられた看護職の皆様に、深い敬意を表します。その努力と献身が、一人ひとりの命を守り、社会の健康を支える原動力となっています。

今年も引き続き、看護職の人材確保、働き方改革、さらには質の高い看護の提供を目指して、皆様とともに力を合わせてまいります。

今年は「乙巳（きのとみ）」の年です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



栃木県看護協会会長
朝野春美

あけましておめでとうございます。連盟会員の皆さまには、日頃より栃木県看護協会の活動にご支援、ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

昨年は能登半島地震や集中豪雨等、全国いたるところで自然災害が発生し、各地に大きな爪痕を残した年でした。また、各種感染症はもとより非感染性疾患への対応等、医療福祉現場は多忙を極めております。その最前線で日々ご尽力いただいている看護職の皆様に改めて感謝と敬意を表します。

さて、少子超高齢化が猛スピードで進む中、看護協会では2025年問題への対応として「看護の将来ビジョン」を策定し、活動を行ってきました。そして現在、次なる2040年問題に対応するために、新たな「看護の将来ビジョン」を策定しています。今後はこの新たなビジョンを踏まえて、どのような健康状態でもその人らしく暮らし続けられる社会を目指して「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実践により一層取り組んで参りたいと思います。

社会情勢が変化し、看護職への期待が高まる中、看護職がその役割を発揮しよりよい活動を展開するには、私たちを取り巻く環境や制度の充実が必須です。そのために、今後も看護連盟と看護協会がさらに協働して、政策実現に向けて取り組んで参ります。

どうか、本年もよろしくお祈りいたします。



文部科学大臣
衆議院議員
あべ俊子

あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拜命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。

あべは、岡山県で政治家としてお育ていただきましたが、10増10減で選挙区がなくなり、今回は比例九州ブロックから当選させていただくこととなり、大変ご心配をおかけいたしました。厳しい選挙も力強くお支えくださったみなさまには、必ずや政策でご恩返しをさせていただきます。

かつてないスピードで不確実性や複雑性を増す時代、みなさまの声を聴かせていただき、人材育成のための教育は国の基（もと）と信じて、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。



参議院議員
石田 昌宏

日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

先般、栃木県内の各地へご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。現場では、看護記録の多さに対する業務負担や、診療報酬改定による病院経営への影響、多様化する患者さんに対する病棟における様々な問題等、課題が山積しています。様々な課題を伺い、人口減少時代に突入した今、これまでの価値観を大きく転換し、看護の在り方を深く見つめ直さなければならない、と改めて強い危機感を持ちました。また、様々な業種で賃上げが実現してはいるものの、物価高対策が必要です。厳しい状況に置かれている医療・介護等の現場の実情を訴え、補正予算や令和7年度予算等への反映と確実な実施を引き続き求めていきます。

本年も看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見を国政の場に繋げて参ります。栃木県看護連盟益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より御祈念申し上げます。



内閣府大臣政務官
参議院議員
友納 理緒

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。

弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



あけましておめでとうございます。栃木県看護連盟の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は市政の発展に向け、数多くの課題に取り組む中で、栃木県内の皆様から多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年も「市民とともに歩む議会」を目指し、地域の声を真摯に受け止め、市民・県民生活の向上に向けた政策の実現に尽力していく所存です。特に、地域医療の充実や子育て支援の強化、防災対策の推進など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを重点に取り組んでまいります。皆様の貴重なご意見を力に変え、市政に反映させるため、引き続きご指導とご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



足利市議会議員
中島 まゆみ